



今月号から、ごみ処理の現状やごみの減量化に向けての取り組みなどを6回のシリーズでお知らせします。

シリーズ①

# ごみの減量に向けて

ごみ最終処分場での、ごみの飛散やごみから出る悪臭、害虫対策として、現在、毎日の埋め立て作業後に覆土を行い、その予防に努めています。また、燃やせるごみの処理方法は、市の焼却炉を日曜日も運転し焼却していることに加え、市内の民間業者にも焼却処理を委託しています。

市は、市民の皆さんに、大変ご迷惑をおかけしたことを真摯に受け止め、今後もごみ処理基準および維持管理基準の遵守を徹底するとともに、燃やせるごみの全量焼却に努めていきます。



## 皆さんの取り組み

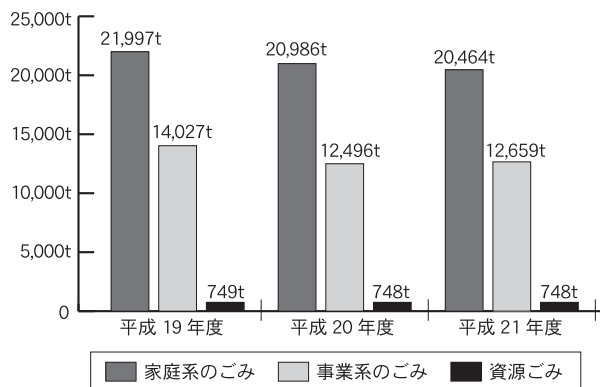
岩見沢市のごみ処理は、多くの市民の皆さんと一緒に考えたごみ処理三原則「ごみの減量」、「ごみの再生利用」、「自然にやさしい処理」を基本に、市民と事業者、行政が一体となって進めています。

### 家庭での取り組み

私たちが暮らしている中で、物を大量に生産、消費、廃棄する現代の

生活様式により、家庭から多くのごみが出されています。市内の家庭から出されたごみの量は、市民の皆さんがごみを減らそうとする日ごろの取り組みにより、年々減少してきており、平成19年度から21年度の3年間で1千533t、約7%のごみの減量となっています。

## ごみの排出量の推移



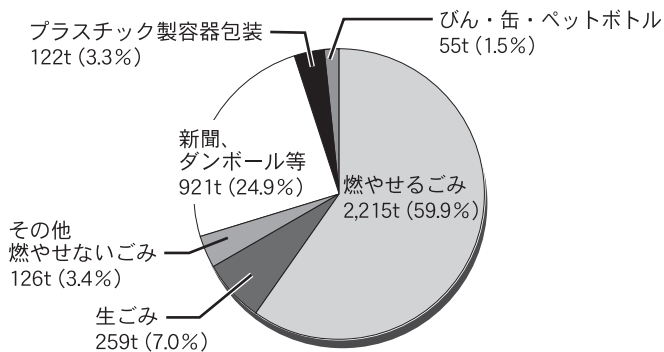
### 町会自治会の取り組み

ダンボールや古新聞、びんやアルミ缶などを資源として再利用するために、町会(自治会)では、自主的に資源回収を行っています。こうして、毎年多くの資源ごみが回収されて、平成21年度は2千278tが再び資源として生まれ変わりました。そう

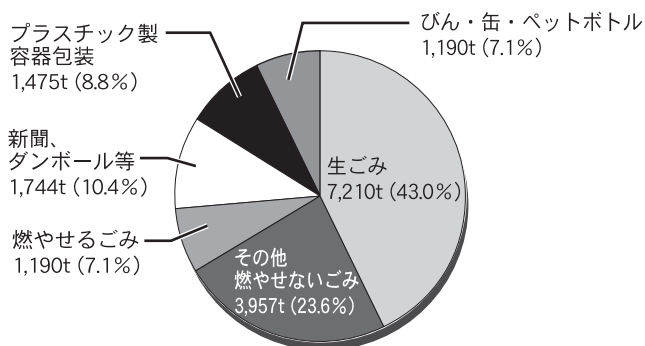


## 平成 21 年度分別状況調査の結果

### 【家庭系の燃やせるごみ3,698tの内訳】



### 【家庭系の燃やせないごみ16,766tの内訳】



## 家庭の生ごみ堆肥化を応援します

### 【コンポストの購入費を助成】

自然にやさしいごみ処理として家庭での生ごみ堆肥化を進めるため、屋外用コンポスト助成制度を利用してみませんか。詳しくはお問い合わせください。

助成額 購入額の9割(限度額6,600円)

助成対象個数 1世帯2個まで(同居する複数の世帯は1世帯とします)

購入する場合には、必ず領収書をもらってください。

申請・問合せ先 市環境対策課

### 【室内用ダンボールコンポストを販売】

室内でダンボール箱を使って生ごみの堆肥化を行う、ダンボール箱や基材を販売していますので、是非ご利用ください。

販売額 ダンボール箱 200円、基材(ピートモス、もみがらくん炭) 200円

問合せ先 ごみのよりよい始末を進める市民会議事務所(4西2) ☎20局1388  
(月曜・日曜日、祝日を除く午前10時30分～午後3時30分)

することで、ごみの減量と資源化につながっています。

## より多くの資源に再生へ

市民の皆さんの取り組みや町会(自治会)の資源回収などにより、ごみの排出量は年々減ってきています。しかし、まだ資源として再利用することができる物が、ごみとして出されています。

市は、家庭から出されたごみの分別状況を調べるために、市内のいくつかのごみステーションに出されたごみを調査しています。平成21年度

は、ごみステーション120か所を調査しました。

その結果、燃やせるごみの中に、

本来は燃やせないごみである生ごみなどが10.4%含まれていたほか、新聞やびん、プラスチック製容器包装などの資源として再利用が可能であるごみが29.7%含まれていました。

また、燃やせないごみの中に、本来は燃やせるごみが7.1%含まれていたほか、資源として再利用が可能であるごみが26.3%含まれていました。

これらの資源として再利用できるとごみは、市民の皆さん一人ひとりがきちんと分別を行うことにより、年

間約5千500tのごみが新たに資源として再利用されるとともに、ごみの減量にもつながります。

市は、ごみの減量をさらに進めるために、資源として再利用できるプラスチック製容器包装の分別収集を今後、市内全域で取り組んでいきます。



買い物の時にマイバッグを持参することや、家庭から出る生ごみは、コンポストなどを利用して堆肥にすることで、ごみを減らすことが出来ます。

また、家庭で自分たちのごみは、

きちんと分別・保管して、決められた曜日に決められた場所に運ぶなど、自分のごみは自分で責任を持って対処するという意識が必要です。皆さん、ごみを出す前にもう一度ダンボールや古新聞、アルミ缶やペットボトルなどの資源として再利用できる物なのかを確認してから出しましょう。そして、資源として再利用できる物は、町会(自治会)などの資源回収に出して、市内のごみを皆さんの手でさらに減らしていきます。

問合せ先 市環境対策課